

令和7年6月18日（水曜日）

予算決算委員会文教・子育て分科会

第2委員会室

出席議員

山口 悟、金内義和、西本眞造、蔭山敏明、
石堂大輔、萩原唯典、三浦充博、牧野圭輔、
谷川真由美

【文教・子育て委員会（教育委員会）の審査】

開会

14時05分

教育委員会

14時05分

送付議案説明

・議案第65号 令和7年度姫路市一般会計補正予算
(第1回)

質疑

14時08分

(質問)

子どもの学校改革応援事業に係るクラウドファンディングについて、寄附件数、総額は、124 件、707 万 7,500 円とのことであるが、ふるさとチョイスのサイト上からの寄附は 416 万 3,000 円であった。

件数の内訳はどのようになっているのか。

(答弁)

サイト上からの寄附が 76 件、サイト外の寄附が 48 件である。

(質問)

寄附の特典が 3 万円以上と 30 万円以上で分けられていたが、30 万円以上の寄附はどのくらいあったのか。

(答弁)

5 件である。

(質問)

教育委員会として、このたびのクラウドファンディングをどのように評価しているのか。今後の方向性と併せて説明してもらいたい。

(答弁)

このたびのクラウドファンディングでは、当初の見込みを上回る寄附があったため、予算を増額補正するものである。当該補正予算が可決された後、リノベーションを実施し、その効果や費用対効果を検証して、今後の展開に生かしていきたいと考えている。

また、今後の方向性としては、令和7年度は市内全ての学校からアイデアを募っており、その中からストーリーを感じるものや効果が見込まれるものを選考したいと考えている。

(質問)

選考はどのように実施するのか。

(答弁)

教育長、教育次長、教育委員 4 名で選考する予定である。

(質問)

5 件の 30 万円以上の寄附はサイト上からのものなのか。

(答弁)

2 件はサイト上から、3 件はサイト外のものである。

(質問)

このたびの寄附額で城北小学校と飾磨中部中学校の希望内容が全て実現できるのか。

(答弁)

各学校の希望の全てを実現することは難しいものの、想定以上の寄附があったことから予算の増額補正により、寄附額の範囲内でできる限り希望に沿うようなりノベーションを実施したい。

(質問)

令和7年度は市内全ての小中学校から提案を募るとのことであるが、令和6年度のように支援先の学校を指定することはできるのか。

(答弁)

令和7年度に実施するクラウドファンディングにおいては、地域間で過度な競争が生じないよう支援先の学校を指定せずに 1 つのプロジェクトとして寄附を募りたいと考えている。

(質問)

将来的にもクラウドファンディングは続けていく予定なのか。

(答弁)

このたびのクラウドファンディングは初めての実施で注目を集めたものの、それが毎年継続するとなれば、寄附意欲も低下すると考えている。広報等を有効に活用しながら、長く続けられるよう努めていきたい。

(質問)

本来、学校が必要とするものには予算措置をすべき

ではないのか。

(答弁)

教育予算は、全ての学校が確保すべき必要最低限のものに充てられている。また、市内の学校は老朽化が進行しており、その対策にも予算を支出する必要がある、各学校が独自で取り組むようなものには予算を確保しにくいところがある。クラウドファンディングは、そのような学校独自の取組支援に活用していきたい。

教育委員会終了

14時19分

【文教・子育て委員会（こども未来局）の審査】

【文教・子育て委員会の意見取りまとめ】

意見取りまとめ

15時40分

・分科会長報告について

正副分科会長に一任すべきものと決定。

閉会

15時41分